

生徒および教員に対するアンケート調査結果の概要について

1 調査の目的

部活動の地域移行に関する対応の方向性を検討するにあたり、その基礎データとなる生徒（中二・三）、教職員および保護者の意向をとらえることを目的としている。

2 調査の設計及び回収結果

【生徒】

①	調査対象	大田区立中学校生徒 (2年生及び3年生)
②	対象者数	7,230人
③	有効回答数	5,510 サンプル
④	調査方法	Google フォーム
⑤	調査期間	令和5年7月2日 ～7月28日

【教員】

①	調査対象	大田区立中学校の教員
②	対象者数	902人
③	有効回答数	436 サンプル
④	調査方法	Google フォーム
⑤	調査期間	令和5年6月30日 ～8月2日

【保護者】

①	調査対象	大田区立中学校保護者 (2年生及び3年生)
②	対象者数	7,200人
③	有効回答数	1,141 サンプル
④	調査方法	Google フォーム
⑤	調査期間	令和5年9月14日 ～9月27日

3 生徒の調査結果概要

（考察結果）

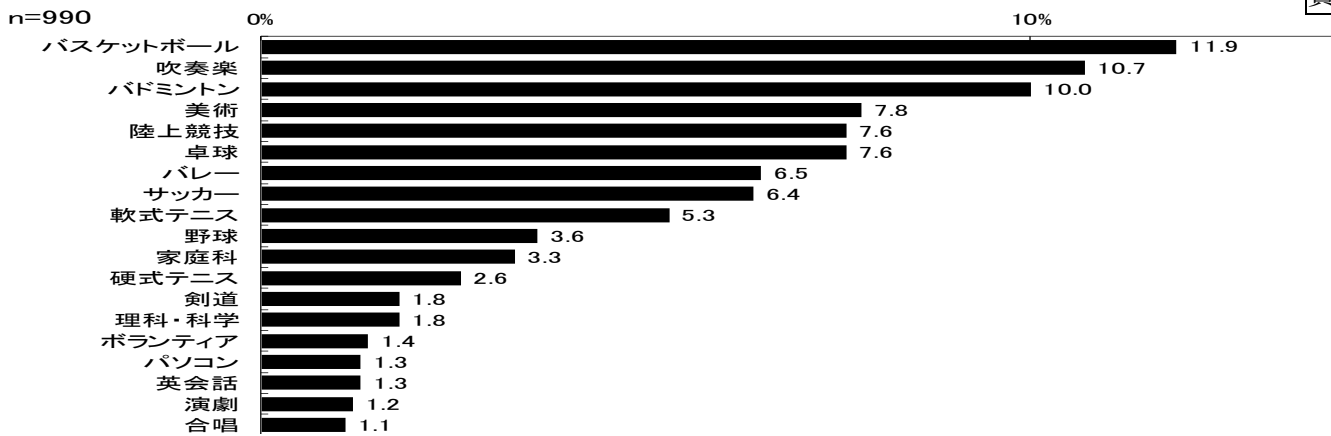
- ・部活動に対する需要について、バスケットボール、サッカー、バレーボール等が高くなっている。
- ・部活動に対しては、活動自体の楽しさやメンバーとの交流が深まることが重視されている。
- ・自分の学校で活動したいと考える生徒は、全体の半数と最も多い。また、「学校以外の施設で活動してみたい」「他校でもよいので学校で活動したい」と考える生徒も、あわせて半数程度を占めている。

■部活動の所属割合について（Q3）

学校部活動に所属している割合は約8割（75.3%）。

■所属している部活動について（Q4）

バスケットボール、吹奏楽、バドミントン、美術、陸上競技の順。



■休日に地域で活動してみたい部活動について (Q8,9)

(部活動所属生徒) バドミントン、バレーボール、テニス、バスケットボール、サッカー
(未所属生徒) バスケットボール、サッカー、野球、卓球、バレーボールの順。

■部活動に入部した理由 (Q5)

「活動が楽しそうだったから」が 62.0%、「部活動を経験してみたかったから」が 46.6%、「友達や先輩と活動したかったから」が 37.5%となっている。

■他校の生徒と合同で部活動に取り組むことについて (Q11)

「他校の生徒と合同で取り組んでもよい」が 61.8%、一方で「自校の生徒とだけで取り組みたい」が 38.2%となっている。

■学校外の施設で活動することについて (Q12)

「自分の学校で活動したい」(47.2%)が最も高く、次いで「学校以外の施設で活動してみたい」(30.9%)、「他校でもよいので学校で活動したい」(17.5%)と続いている。

4 教員の調査結果概要

(考察結果)

- ・現在担当している部活動を指導できると答えた割合は約7割程度だが、専門として部活動を指導できる教員は、全体の約4割程度と低い。
- ・休日に地域移行後部活動の指導者としてかかわることについて、7割が関わりたくないと回答した。

■部活動の指導者について (Q3)

「平日も休日も地域人材がよい」(68.1%)が最も高く、次いで「平日も休日も教員がよい」(16.5%)、「平日教員、休日は地域人材がよい」(15.4%)となっている。

■現在担当している部の指導について (Q5)

「専門として指導できる」(39.7%)が最も高く、次いで「専門ではないが指導できる」(29.7%)、「指導ができない」(26.9%)と続いている。

■休日に地域移行後部活動の指導者として関わることについて (Q24)

「関わりたくない」(67.9%)が最も高く、次いで「活動場所が学校のままなら関わりたい」(22.2%)、「活動場所が変わっても関わりたい」(9.9%)と続いている。

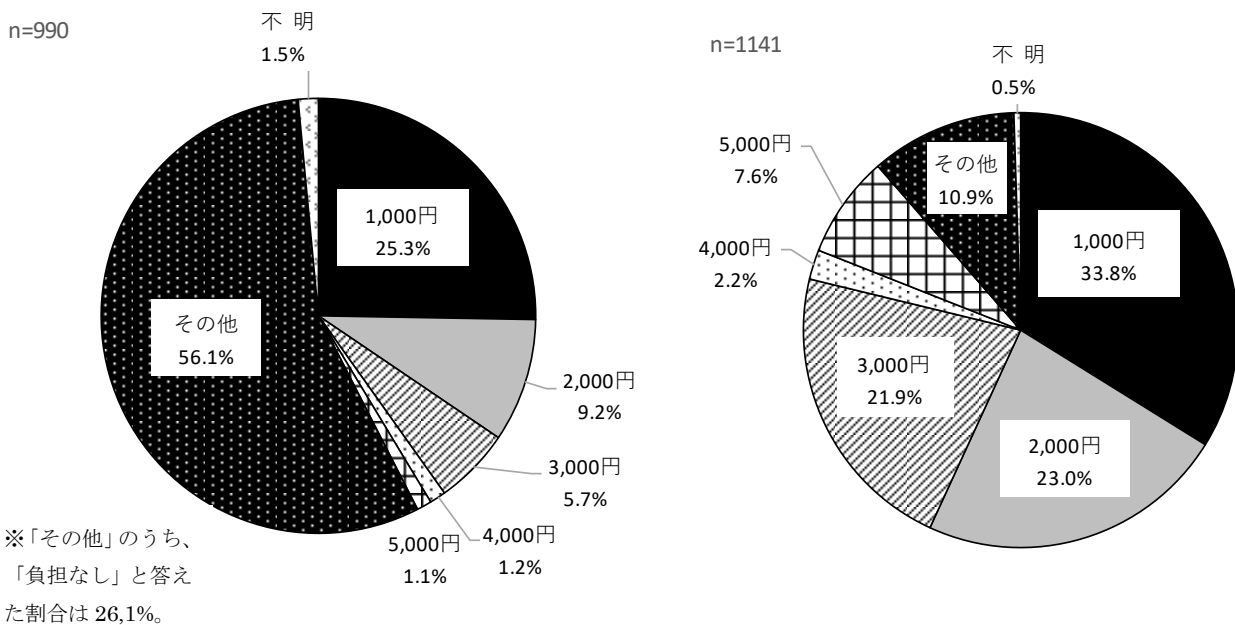
5 保護者の調査結果概要

(考察結果)

- ・他校の生徒と合同で部活動を行うことに対しては、約半数が肯定的な意見である一方、学校外の施設で活動することについての積極的な意見は約 15%にとどまる。
- ・部活動に対しては、仲間づくりや体力・知識の習得を求める声大きいですが、教員以外から指導を受けられる機会があるのであれば、指導の専門性を重視する傾向が強くなる。
- ・部費について、現状の部費(月額)で最も多いのは、ほぼ負担なしを除けば、1,000 円である。外部への委託費(月謝等)として妥当だと考える金額も 1,000 円が最多で、その割合も増えており、次に 2,000 円、3,000 円が続く。

■左：現在の部費（月額）はいくら負担しているか（Q5）

右：外部への月謝として妥当と考える金額（月額）は（Q11）



■部活動に求めること（Q6）

「先輩・後輩や同級生との関わり方を身に付ける」(80.5%)が最も高く、ついで「体力や知識を身に付ける」(73.8%)、「友達をつくる」(64.2%)と続いている。

■他校の生徒と合同で部活動に取り組むことについて（Q7）

「他校の生徒と合同で活動させたい」が 48.8%、一方で「同じ中学の生徒とだけで活動させたい」が 27.0%となっている。

■学校外の施設で活動することについて（Q8）

「自分の学校で活動させたい」(45.4%)が最も高く、次いで「学校以外の施設で活動させたい」(16.1%)、「他校でもよいので学校で活動したい」(14.5%)と続いている。

■学校の先生以外に活動を教わる際に、どのようなことを望むか（Q9）

「競技や実技に詳しい指導者から教わらせたい」(89.6%)が最も高く、ついで「優しい指導者から教わらせたい」(23.1%)、「年齢の近い指導者から教わらせたい」(5.6%)と続いている。